

アニュアルレポート 2014

地理環境科学域／地理環境コース

首都大学東京
大学院都市環境科学研究科地理環境科学域
都市環境学部地理環境コース

目 次

1	地形・地質学研究室	1
	1) スタッフ	
	2) 研究概要	
	3) 研究成果 (2014 年度)	
2	気候学研究室	6
	1) スタッフ	
	2) 研究概要	
	3) 研究成果 (2014 年度)	
3	環境地理学研究室	14
	1) スタッフ	
	2) 研究概要	
	3) 研究成果 (2014 年度)	
4	地理情報学研究室	17
	1) スタッフ	
	2) 研究概要	
	3) 研究成果 (2014 年度)	
5	都市・人文地理学研究室	23
	1) スタッフ	
	2) 研究概要	
	3) 研究成果 (2014 年度)	
6	特定学術研究	26
7	学位論文	28

1 地形・地質学研究室

1) スタッフ

山崎 晴雄 (やまざき はるお) 教授 / 理学博士
地形学, 第四紀学, 地震地質学

鈴木 毅彦 (すずき たけひこ) 教授 / 理学博士
地形学, 第四紀学, 火山学

白井 正明 (しらい まさあき) 准教授 / 博士 (理学)
堆積学, 第四紀地質学, 海洋地質学

2) 研究概要

地形・地質学研究室は、将来の地球環境変化を予測することを最終的な目標として、それに必要な過去の環境変化や地形形成過程など、大地に刻まれた情報を解明する研究を行っている。現在および最近の地質時代（第四紀）の地形・地質に関連する様々な現象が主要な研究対象である。最近行なっている主な研究テーマを挙げると次のとおりであり、日本をはじめ世界各地での野外観察・観測、あるいは室内での実験によってバラエティに富む研究を行なっている。

1. プレート境界域の第四紀地殻変動に注目し、その時間的変遷や地震発生様式からプレートの収斂・衝突過程の詳細を明らかにする。
2. 日本列島とその周辺海域に広く堆積している火山灰に注目し、爆発的噴火の頻度・規模とメカニズムの解明、火山噴火史の復元、日本列島スケールでの火成活動の変遷史を明らかにする。
3. 地形変化や堆積記録の調査結果を基に、過去百万年間～最近十年間スケールの環境変遷史や災害史を復元する。
4. 火山灰層序、放射性同位体測定や歴史記録などを研究し、これらの時間指標としての有用性を高める。
5. モデリングを駆使して、火山活動・断層運動などの内作用と地形変化の相互関係を捉える。

3) 研究成果 (2014 年度)

原著論文・展望論文 (査読付きの論文)

山崎晴雄 2015. 活断層評価の現状と課題. 日本地震工学会誌 **24**: 2-7.

その他の論文 (査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む)

山崎晴雄 2014. 1-1-3 地質の概要. 『新八王子市史自然編』八王子市, 14-16.

山崎晴雄 2014. 2-1-1 はじめに. 『新八王子市史自然編』八王子市, 34-35.

山崎晴雄 2014. 2-1-8 八王子の自然災害. 『新八王子市史自然編』八王子市, 73-89.

山崎晴雄 2014. 4-1-1 変わりゆく自然. 『新八王子市史自然編』八王子市, 506-515.

鈴木毅彦 2015. 火山ハザードマップ. 鈴木康弘編『防災・減災につなげるハザードマップの活かし方』岩波書店, 110-127.

鈴木毅彦 2015. 2013 年台風第 26 号による伊豆大島土砂災害-盲点となった土砂災害とハザードマップ. 鈴木康弘編『防災・減災につなげるハザードマップの活かし方』岩波書店, 127-130.

鈴木毅彦 2015. 群馬県桐生市新里町 (新里村) 上鶴ヶ谷における風成テフラ層について. *Bulletin of the Tohoku University Museum* **14**: 276.

東野外志男・中川重紀・小川義厚・田村糸子 2014, 石川県一福井県北部海岸平野のボーリングコア中の鬼

界アカホヤ火山灰. 日本海域研究 **45**: 63-74.

植木岳雪 2014. 三重県中部, 長島地域における土石流堆積物の AMS 14C 年代. 地質調査研究報告 **65**: 67-70.

植木岳雪 2014. 三重県中部, 片上川の高位段丘堆積物. 地質調査研究報告 **65**: 105-111

植木岳雪 2015. 香川県西部, 鮮新—更新統三豊層群中の破断円礫の成因とテクトニックな意義. 千葉科学大学紀要 **8**: 51-56.

植木岳雪 2015. 地学系専門科目「地震と災害」におけるアクティブ・ラーニングの事例報告—授業中に本を読んで, 著者に手紙を書く—. 千葉科学大学紀要 **8**: 145-153.

植木岳雪・鈴木毅彦 2014. 2-3 丘陵の地形と地質. 『新八王子市史自然編』八王子市, 39-51.

編著書 (単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

山崎晴雄 2014. 富士山はどうしてそこにあるのか. NHK カルチャーラジオ「科学と人間」2015 年 1 月～3 月放送テキスト: 159p.

竹村貴人・植木岳雪・遠藤邦彦 2014. 3.6 東京都の地盤, 新・関東の地盤, 地盤工学会関東支部, 東京, 116-129.

原 英俊・植木岳雪・辻野泰之 2014. 北川地域の地質. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.

報告書

山崎晴雄 (主査) 2014. 原子力発電所の敷地内断層の評価—敦賀発電所—. 一般社団法人原子力の安全と利用を促進する会 規制関連特別部会 地震・津波分科会 報告書: 124p.

鈴木毅彦 2014. 3.2.2 断層帯の平均変位速度・累積変位量の解明のための高精度火山灰編年調査. 立川断層帯における重点的な調査観測平成 25 年度成果報告書: 75-94.

書評

白井正明 2014. 書評: 石橋克彦著『南海トラフ巨大地震—歴史・科学・社会』 第四紀研究 **53**: 235.

その他の報文 (技術レポート、商業誌、解説・雑録など)

鈴木毅彦 2014. 長岡信治さんのテフラ研究. 月刊地球 **36**: 201-204.

奥野 充・鈴木毅彦・森脇 広 2014. 総特集「長岡信治教授: 海から山, 火山でのフィールドワーク」: 趣旨説明. 月刊地球 **36**: 190-197.

宇津川喬子 2014. 日本堆積学会2014年山口大会野外巡検「石灰-ペルム系秋吉台石灰岩の礁相・礁湖相・陸上露出層」参加報告. 堆積学研究 **73**: 73-76.

南里翔平 2014. 関東支部富士山巡検参加者の感想. 日本地質学会 News **17** (11): 49.

講演・学会発表

山崎晴雄 2014. 誤解されている活断層—風評を排除して真の防災をすすめよう—. いなぎ IC カレッジ講演, 5 月, 稲城.

山崎晴雄 2014. 立川断層を学ぼう. 小金井市公民館緑分館「みどり・木の樹学級」講演, 6 月, 小金井.

山崎晴雄 2014. 地震と防災. 狭山市立入間川中学防災講演会, 6 月, 狭山市.

山崎晴雄 2014. 原子力と活断層問題. 原子力安全推進協会 (JANSI) 社員総会講演, 6 月, 三田.

山崎晴雄 2014. 人類の歴史から読み解く, 地球環境変化, エネルギー問題と原子力. 東北エネルギー懇談会講演, 7 月, 仙台市.

山崎晴雄 2014. 神奈川の自然と災害—自然への理解を深めて, 将来の災害に備えよう—. 神奈川県立西湘高校文科省スーパーサイエンス・ハイスクール (SSH) 事業講演, 7 月, 小田原.

山崎晴雄 2014. 活断層フリー社会を目指して—理学と工学の融合を進めよう—. 京大防災研究所 研究集

- 会「活断層とノンテクトニック断層」講演, 8月, 宇治.
- 山崎晴雄 2014. 最近の自然地理学—人類の発展とエネルギー問題—. 首都大学東京 平成26年度教員免許状更新講習, 8月, 八王子.
- 山崎晴雄 2014. 知って備える立川断層. 三鷹市社会教育会館講演, 11月, 三鷹.
- 山崎晴雄 2014. 立川断層を知る, 見る, 歩く. 早稲田大学エクステンションセンター オープンカレッジ「武蔵野台地と玉川上水」, 11月, 中野.
- 山崎晴雄 2014. 原発も活断層も, そして地層処分も冷静な議論が必要. 東北エネルギー懇談会講演, 11月, 青森.
- 山崎晴雄 2014. 自然災害と歴史—立川断層の正しい怖がりかた—. 平成26年度三鷹市文化財講演会, 11月, 三鷹.
- 山崎晴雄 2014. 活断層に関する最近の話題. 平成26年度ひらつか防災まちづくりの会 講演会, 12月, 平塚.
- 山崎晴雄 2015. 原子力施設と活断層問題. 日本原子力学会「断層の活動性と工学的なリスク評価」調査専門委員会特別講演会, 2月, 本郷.
- 山崎晴雄 2015. 富士山はどうしてそこにあるのか. NHK カルチャーラジオ「科学と人間」, 2015年1月～3月, 青山 (NHK 第二放送局で12回のシリーズ放送).
- 山崎晴雄 2015. 立川断層とこれからの防災. 西東京市田無公民館「地域防災教室」講演, 3月, 田無.
- 山崎晴雄 2015. 火山噴火のしくみ, 活動の状況, 予測はできるの? 昭島市公民館地域課題講座「自然災害から身を守る～火山の噴火、地震、気象災害を学ぶ」第3回講演, 3月, 拝島.
- 山崎晴雄 2015. 昭島市公民館地域課題講座「自然災害から身を守る～火山の噴火、地震、気象災害を学ぶ」第4回講演, 3月, 拝島.
- 豊蔵 勇・青砥澄夫・川田明夫・須藤宏・福井謙三・松崎達二・渡辺平太郎・山崎晴雄・中山俊雄 2014. 坂口豊博士によって東京大学構内で発見された第四紀断層の連続性. 日本活断層学会秋季大会予稿集: 42-43, 10月, 仙台.
- 鈴木毅彦・首都大学東京 2013 年台風26号伊豆大島災害調査グループ 2014. 2013年10月に伊豆大島西側斜面で発生した表層崩壊と地形・地質の関係. 日本地球惑星科学2014年大会: HDS29-P08, 4月, 横浜.
- 鈴木毅彦 2014. 立川断層帯を挟む2本のボーリングコアからみた武蔵村山市榎付近の地下構造. 日本地球惑星科学2014年大会: SSS34-P11, 4月, 横浜.
- 鈴木毅彦・笠原天生・八木浩司・今泉俊文・吉田明弘 2014. 東北日本弧, 山形盆地北部村山市浮沼における盆地地下堆積物とそれに含まれるテフラ. 日本地球惑星科学2014年大会: HQR24-02, 5月, 横浜.
- 鈴木毅彦 2014. 上総層群のテフロクロノロジーに関する研究レビューと今後の課題. 日本地球惑星科学2014年大会: SGL44-07, 5月, 横浜.
- 鈴木毅彦・中島絵理・笠原天生・西澤文勝・寺口慧介・青野道 2014. 立川断層帯を挟む2本のボーリングコアに含まれる武蔵村山市榎の前期更新世テフラ. 日本第四紀学会講演要旨集44: 6, 9月, 柏.
- 鈴木毅彦 2014. 多摩地域の地震と地盤災害—立川断層帯と首都直下地震の最新情報—. 東京都三多摩公立博物館協議会・国文学研究資料館3研究グループシンポジウム「多摩地域の博物館・資料館・美術館における防災と地域連携」, 10月, 立川.
- 鈴木毅彦 2015. 読図方法 (地形図の読み方と地形・地質の基礎). 平成26年度 東京都環境局緑のボランティア指導者等育成講座 (専門講習), 1月, 新宿.
- 鈴木毅彦 2015. 富士山の噴火とそれに伴う自然環境変化を学ぶ. 八王子市エコひろば講座, 1月, 八王子.
- 鈴木毅彦 2015. 日本列島における風化ローム層の分布・層厚・年代と潜在的崩壊危険度. 平成26年度京都大学防災研究所研究発表講演会, 2月, 宇治.
- 鈴木毅彦 2015. 衛星画像・レーザ測量データからみた2014年御岳噴火前後の地形変化と噴石分布. 御嶽山2014年噴火科学研究費研究集会, 3月, 名古屋.
- 鈴木毅彦 2015. 日本列島の火山と地震. 朝日カルチャーセンター横浜教室, 3月, 横浜.

- 石山達也・廣内大助・佐藤比呂志・鈴木毅彦・小林健太・郡谷順英・小俣雅志・柴田 剛 2014. 立川断層帯・狭山神社地点のピット調査. 日本地球惑星科学 2014 年大会: SSS34-P10, 4 月, 横浜.
- 村田昌則・鈴木毅彦 2014. 東京都目黒区林試の森公園および品川区戸越地下の上総層群中に挟在するテフラ. 日本第四紀学会講演要旨集 **44**: 187, 9 月, 柏.
- 千木良雅弘・中野真帆・土谷樹生・鈴木毅彦 2015. 地震時に崩壊した降下火砕物の層序, 貫入抵抗プロファイルの共通性について. 平成 26 年度京都大学防災研究所研究発表講演会, 2 月, 宇治.
- 飛田哲男・王 功輝・鈴木毅彦・千木良雅弘 2015. 崩壊性地すべり地のハロイサイト含有粘土の力学特性. 平成 26 年度京都大学防災研究所研究発表講演会, 2 月, 宇治.
- 白井正明・大村亜希子・林崎涼・宇津川喬子 2014. ダムでの土砂堆積が深海底の堆積作用に影響を及ぼす可能性. 日本地球惑星科学連合 2014 年大会予稿集: HQR23-P08, 5 月, 横浜.
- 白井正明・渡邊眞紀子 2014. 2013 年 10 月伊豆大島土石流災害の発生に対する道路の関与. 日本地球惑星科学連合 2014 年大会予稿集: HSC25-12, 5 月, 横浜.
- Shirai, M., Omura, A., Hayashizaki, R. and Utsugawa, T. 2014. Mass accumulation rate of hemipelagic environment during the 20th century around central Japan: A possibility of influence of dam reservoir deposition. *Abstracts of the 19th International Sedimentological Congress*: 627 (T2S3-P19), August, Geneva.
- 白井正明・大村亜希子・林崎涼・宇津川喬子 2014. 20 世紀後半における新潟沖日本海深海底での堆積速度変化. 日本第四紀学会 2014 年講演要旨集 **44**: 168, 9 月, 柏.
- Omura, A., Ikehara, K., Katayama, H., Usami, K., Irino, T., Kuwae, M., Shirai, M. and Ashi, J. 2014. Stratigraphic variations of terrigenous organic carbon ratios in flood and slope failure sediments of marine area, examples from the modern natural disasters of Japan. *Abstracts of the 19th International Sedimentological Congress*: 534 (T2S3-P14), August, Geneva.
- 田村糸子・山崎晴雄・水野清秀 2014, テフラ対比に基づく千葉県銚子地域の鮮新-更新統, 大吠層群の堆積開始時期. 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 HQR24-04. 5 月, 横浜.
- 田村糸子・森 勇一・田中里志・宇佐美 徹・津村善博・中川良平, 2014, 三重県亀山地域に分布する東海層群の新第三紀/第四紀境界層準広域テフラ対比. 日本第四紀学会 2014 年講演要旨集 **44**: 7, 9 月, 柏.
- 田村糸子 2014, 南関東で見出された 2.5Ma の広域テフラ, 丹沢-ざくろ石軽石層. 第 168 回 湘南地学の会, 11 月, 相模原.
- 植木岳雪 2014. 愛知県東部, 三好層の古地磁気による編年. 日本第四紀学会講演要旨集 **44**: 34, 9 月, 柏.
- 植木岳雪 2015. 紀伊半島中部, 宮川上流部の河成段丘. 日本地理学会発表要旨集 **87**: 132, 3 月, 世田谷.
- 大石雅之・西来邦章・古川竜太・下司信夫・及川輝樹・石塚吉浩 2014. リアルタイム降灰調査に基づく桜島火山昭和火口噴火の噴出量推定. 2014 年度 (第 69 回) 立正地理学会研究発表大会, 6 月, 熊谷.
- 大石雅之・下司信夫 2014. 火山灰中のガラス質発泡粒子含有量は何を意味するか. 日本第四紀学会講演要旨集 **44**: 5, 9 月, 柏.
- 大石雅之・下司信夫 2014. 桜島火山昭和火口噴火の細粒火山灰構成粒子の時系列. 日本火山学会講演予稿集: 102, 11 月, 福岡.
- 高橋幸祐・松島喜雄・高倉伸一・山谷祐介・有田 真・長町信吾・大石雅之・風早竜之介・藤井郁子 2014. 雌阿寒岳ポンマチネシリ火口浅部の比抵抗構造 (序報). 日本地球惑星科学連合大会 2014 年大会予稿集: SVC55-P02, 5 月, 横浜.
- 古川竜太・山元孝広・石塚吉浩・七山 太・下司信夫・及川輝樹・大石雅之 2014. 桜島火山のブルカノ式噴火による降下火山灰の粒度特性. 日本火山学会講演予稿集: 101, 11 月, 福岡.
- 松島喜雄・高倉伸一・神田 径・斎藤英二・大石雅之 2014. 熱・電磁気学的調査に基づく薩摩硫黄島火山のマグマ-熱水系. 日本火山学会講演予稿集: 76, 11 月, 福岡.
- 安藤広一 2014. コンピュータシミュレーションを用いた榎挽断層トレンチ側面で観察された地層変形の再現. 日本地球惑星科学連合 2014 年大会予稿集: SSS34-10, 4 月, 横浜.
- Ando, K. 2015. Numerical calculation of development of a surface rupture associated with 1999 ChiChi earthquake in

- Taiwan: a case study of a trench log at the Earthquake Museum. *Abstracts Hokudan 2015 International Symposium on Active Faulting*: 88, January, Awaji.
- 林崎 涼・白井正明 2014. 東北地方太平洋沖地震津波堆積物の露光状態: OSL年代測定法による正確な津波堆積物の堆積年代推定を目指して. 日本地球惑星科学連合 2014年大会予稿集: MIS023-P01, 5月, 横浜.
- 林崎 涼・白井正明 2014. 津波堆積物の正確な堆積年代推定における光ルミネッセンス年代測定法の有効性. 日本第四紀学会 2014年講演要旨集 **44**: 74, 9月, 柏.
- 林崎 涼・鈴木毅彦 2015. 光ルミネッセンス年代測定法による東京都西部における複数の扇状地礫層の堆積年代推定. 日本地理学会 2015年大会要旨集: 276, 3月, 世田谷.
- 笠原天生・鈴木毅彦・北村晃寿・加藤真司 2014. 米沢盆地北東部における盆地地下堆積物と第四紀後期テフラ. 日本地球惑星科学連合 2014年大会予稿集: HQR24-03, 5月, 横浜.
- 西澤文勝・鈴木毅彦 2014. 熊本県二見盆地に分布する火砕流堆積物の記載岩石学的特徴. 日本第四紀学会講演要旨集 **44**: 3, 9月, 柏.
- 宇津川喬子・白井正明 2014. 砂礫の岩質と形状変化から検討した河川上流部における砂礫分布の特徴. 日本地球惑星科学連合 2014年大会予稿集: HGM22-O5, 5月, 横浜.
- Utsugawa, T. and Shirai, M. 2014. Fluvial sand grain producing process revealed from changes in lithology and roundness of gravel and sand in the watershed of Watarase River, central Japan. *Abstracts of the 19th International Sedimentological Congress*: 705 (S28_P10), August, Geneva.
- 宇津川徹・宇津川喬子・星善男 2015. 小笠原諸島・母島の土壤地形学—火砕物質中の一次鉱物と動物珪酸体—. 日本ペドロジー学会 2015年度大会: 29, 3月, 東京.
- 高橋尚志・白井正明 2014. 礫の大きさと円磨度からみた氷期・間氷期の河成段丘構成層の違い—多摩川の河成段丘を例にして—. 日本第四紀学会 2014年大会講演要旨集 **44**: 153, 9月, 柏.
- 寺口慧介・鈴木毅彦・中山俊雄 2014. クリプトテフラを用いたテフロクロノロジーによる武蔵野台地北西部, 金子台・所沢台の編年. 日本第四紀学会 2014年講演要旨集 **44**: 181, 9月, 柏.
- 寺口慧介・鈴木毅彦 2015. 武蔵野台地における中期更新世の河成段丘と立川断層帯の活動の再評価. 2015年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **87**: 126, 3月, 世田谷.
- 中島絵理・鈴木毅彦 2014. テフラ層序に基づく関東地域における 1.6Ma 前後の古地理復元. 日本地球惑星科学連合 2014年大会予稿集: SGL44-09, 5月, 横浜.
- 南里翔平・鈴木毅彦 2014. 伊豆小笠原弧北部, 三宅島火山先大船戸期噴出物中に分布する軽石. 日本地球惑星科学連合 2014年大会予稿集: SVC54-07, 5月, 横浜.
- 南里翔平 2014. 地質学におけるフィールドワークの重要性, 伊豆諸島三宅島での地質調査. 第4回浅間大学院生セミナー, 5月, 小諸.
- 南里翔平 2014. 「土」ってなに? 土(地質)からわかる大地の成り立ち〜「夏休み子どもプロジェクト」のために〜. 恵泉女学園大学勉強会, 7月, 多摩.
- 向山千晴・鈴木毅彦 2014. 榛名火山噴出物からみた6世紀前後の利根川流路の検討. 日本第四紀学会 2014年講演要旨集 **44**: 184, 9月, 柏.

2 気候学研究室

1) スタッフ

松本 淳 (まつもと じゅん) 教授 / 博士 (理学)
モンスーン気候学, 環境気候学

高橋 日出男 (たかはし ひでお) 教授 / 理学博士
都市気候, 気候変動, 降水現象に関する気候学

高橋 洋 (たかはし ひろし) 助教 / 博士 (理学)
気候システム学, 雲降水気候学, 領域気候モデリング

2) 研究概要

気候学研究室では、地球規模での気候変化から、アジアモンスーンの形成・変動メカニズム、都市のヒートアイランド現象や集中豪雨のメカニズムの解析まで様々なスケールでの気候の研究を行なっている。研究手法についても、現地での気象観測、気象観測資料や客観解析資料・衛星観測データなどのデータ解析、数値モデルを用いた気候のメカニズムの解明、と多岐にわたっており、現象のモニタリング、プロセス解明、人間活動との関係、将来予測など、多角的に気候の研究に取り組んでいる。

本研究室で現在行なわれている主な研究テーマとしては、次のようなものがある。

- 1) 日本および世界における気候変化・気候変動の研究
- 2) アジアモンスーン域における気候変動や季節変化の研究
- 3) ヒートアイランド現象や都市型豪雨などの都市気候の発現プロセスや発生機構、都市大気の詳細構造の観測研究
- 4) 熱帯域を中心とする地表面状態と雲・降水活動の相互作用に関する研究
- 5) 日本を中心とする歴史時代の気候復元に関する研究

3) 研究成果 (2014 年度)

原著論文・展望論文 (査読付きの論文)

Chen, T. C., Tsay, J. D., Matsumoto, J. and Alpert, J. 2015. Development and formation mechanism of the Southeast Asian winter heavy rainfall events around the South China Sea. Part I: Formation and propagation of cold surge vortex. *Journal of Climate* **28**: 1417-1443.

Chen, T. C., Tsay, J. D., and Matsumoto, J., 2015. Development and formation mechanism of the Southeast Asian winter heavy rainfall events around the South China Sea. Part II: Multiple interactions. *Journal of Climate* **28**: 1444-1464.

高橋日出男・清水昭吾・大和広明・瀬戸芳一・横山 仁 2014. 稠密観測データに基づく晴天弱風の冬季夜間における東京都区部を中心とした気温分布について. *地学雑誌* **123**: 189-210, doi:10.5026/jgeography.123.189.

鈴木博人・大島竜二・中北英一・高橋日出男 2015. 雨量計による大雨の捕捉性能の評価と雨量計の受持ち区間の見直し方法に関する研究. *水工学論文集* **59** (CD-ROM).

高橋一之・高橋日出男 2014. 夏季夜間の局地風系に及ぼす東京都心域のヒートアイランド現象の影響 (続報) —局地風前線の停滞・通過と周囲の気圧場の関係—. *天気* **61**: 525-540.

Takahashi, H.G., and H. Fujinami, T. Yasunari, J. Matsumoto and S. Baimoung, 2015. Role of tropical cyclones along the monsoon trough in the 2011 Thai flood and interannual variability. *Journal of Climate* **28**: 1465-1476.

Fujita, M., Takahashi, H. G., Ishizaki, N. N. and Kimura, F., 2014. Long-term variation of winter precipitation linked to sea-surface heat fluxes around the Japan Sea. *Atmosph. Sci. Lett.*, **15**: 275-281.

- Inatsu, M., Sato, T., Yamada, T., Kuno, R., Sugimoto, S., Farukh, A. M., Pokhrel, N. Y. and Kure S. 2015. Multi-GCM by Multi-RAM experiments for dynamical downscaling on summertime climate change in Hokkaido. *Atmos. Sci. Let.*, doi: 10.1002/asl2.557.
- Matsumura S., Sugimoto S., and Sato S. 2015. Recent intensification of the western Pacific subtropical high associated with East Asian summer monsoon. *Journal of Climate.*, doi:10.1175/JCLI-D-14-00569.1.
- Yamashima, R., Matsumoto, J., Takata, K. and Takahashi, H.G. 2014. Impact of historical land-use changes on the Indian summer monsoon onset. *International Journal of Climatology*, doi: 10.1002/joc.4132.
- 牧田広道・松本 淳 2014. 春季カスピ海周辺で見られる気候偏差の形成プロセス. *海と空* **90**(2): 11-24.
- 吉門 洋・中島 虹・川本陽一・大岡龍三 2014. 東京の市街化地域を通過する海風の熱収支. *天気* **61**: 541-548.
- Nguyen-Le, D., Matsumoto J., and Ngo-Duc, T. 2014. Climatological onset date of summer monsoon in Vietnam. *International Journal of Climatology* **34**: 3237–3250. DOI: 10.1002/joc.3908
- Ngo-Duc, T., Kieu, C., Thatcher, M., Nguyen-Le, D., and Phan-Van, T., 2014. Climate projections for Vietnam based on regional climate models. *Climate Research* **60**: 199-213. DOI: 10.3354/cr01234
- Villafuerte II, M.Q. and Matsumoto, J. 2015. Significant influences of global mean temperature and ENSO on extreme rainfall in Southeast Asia. *Journal of Climate* **28**: 1905–1919.
- Villafuerte II, M.Q., Matsumoto, J. and Kubota, H. 2014. Changes in extreme rainfall in the Philippines (1911–2010) linked to global mean temperature and ENSO. *International Journal of Climatology*, DOI: 10.1002/joc.4105.
- Yamaji M. and Takahashi, H. G. 2014. Asymmetrical interannual variation in aerosol optical depth over the tropics in terms of aerosol-cloud interaction. *SOLA* **10**: 185-189.

その他の論文 (査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む)

- 高橋日出男 2014. 第2章第3節 気候と気象 (酸性雨の項目を除く). 『新八王子市史 自然編』646 ページ, 八王子市, 108-166, 168-169.

編著書 (単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

なし

報告書

- 高橋日出男・鈴木博人 2015. 降雨量の空間代表性に関する研究. 平成 26 年度首都大学東京・東日本旅客鉄道株式会社研究開発センター共同研究報告書, 48p.

書評

なし

その他の報文 (技術レポート、商業誌、解説・雑録など)

- 松本 淳 2014. 気候変動の実態解明と将来予測 気候学コミッション. *地理* **59**(9): 70-71.
- 松本 淳 2014. モンスーン気候の雨の動きを把握し将来の気候変動予測につなげる. *JAXA's* **54**: 7.
- 高橋日出男 2014. 都市における短時間強雨について. *Electronics Communications* **30**: 6-11.

講演・学会発表

- Matsumoto, J. 2014. Seasonal changes of monsoon over the Indochina Peninsular. *Takio Murakami Memorial Symposium on Tropical Meteorology and Monsoon*, July, Honolulu, USA.
- 松本 淳 2014. アジアモンスーン地域における気候資料のデータレスキュー. データレスキュー及び100年再解析研究に関するミニワークショップ, 9月, 本郷.

- Matsumoto, J. 2014. MAHASRI. *Meeting of the World Climate Research Programme (WCRP) Global Energy and Water Exchanges (GEWEX) Project Hydroclimatology Panel (GHP)*, December, Pasadena, USA.
- Matsumoto, J. 2015. Overview of MAHASRI. *Asian Monsoon Hydroclimate -Review of MAHASRI and Beyond-*, March, Nagoya.
- 松本 淳 2015. 東南アジアにおける北東モンスーン季の豪雨. 第10回南アジアおよびインドシナにおける自然環境と人間活動に関する研究集会ーインド亜大陸東部・インドシナの自然災害と人間活動ー, 3月, 中野.
- Matsumoto, J. and Asada, H. 2015. Effect of rainfall and severe floods on rice production in Bangladesh. *International Conference on Climate Change Innovation and Resilience for Sustainable Livelihood*, January, Kathmandu, Nepal.
- Matsumoto, J., Chen T.C., Tsay, J.D. and Alpert, J. 2015. Development and formation mechanism of the fall-winter heavy rainfall events in Central Vietnam. *The Fourth International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region: 21-24*, March, Hanoi, Vietnam.
- Matsumoto, J., Kubota, H., Endo, N., Villafuerte II, M.Q., Akasaka, I., Cinco, T.A. and Zaiki, M. 2014. Climatic data rescue in Southeast Asia. *ACRE Southeast Asia Workshop*, May, Bangi, Malaysia.
- Matsumoto, J., Kubota, H., Endo, N., Villafuerte II, M.Q., Suzuki, H., Takahashi, H.G., Akasaka, I., Cinco, T.A. and Zaiki, M. 2014. Climatic data rescue in Southeast Asia and Japan. *International ASEAN SACA&D Conference and Workshop 2014 (IASCW-2014)*, May, Bogor, Indonesia.
- Matsumoto, J., Ogino, S.Y., Endo, N., Wu, P.M., Nguyen-Thi, H.A. and Nguyen-Le, D. 2014. ENSO and MJO influence on heavy rainfalls in Central Vietnam. *The 9th International Scientific Symposium, IOC/WESTPAC Programme and Abstract Book: 89*, April, Nha Trang, Vietnam. (Invited)
- Matsumoto, J., Ogino, S. Y., Endo, N., Wu, P.M., Villafuerte, M.Q., Chen, T. C. and Tsay, J. D. 2014. ENSO and MJO influence on heavy rainfalls in Central Vietnam. *The 2nd ANCST Workshop on "Atmosphere-Ocean Interactions in the Indo-Pacific Basin and Their Impact on Asian Climate"*, November, Bengaluru, India.
- Matsumoto, J., Villafuerte, M.Q., Nguyen-Thi H.A., and Endo, N. 2014. Long-term changes of extreme rainfall in Southeast Asia. *The 10th National Met-Hydro Convention of the Philippine Meteorological Society*, November, Quezon City, Philippines.
- Matsumoto, J., Wang, B., Wu, G.-X., Li, J., Mori, S., Yamanaka, M.D., Wu, P.-M., Oki, T., Kanae, S., Asanuma, J., Ailikun, B., Yoshimura, K., Koike, T., Tamagawa, K., Ikoma, E., Kinutani, H., Kamahori, H., Kamiguchi, K. and Wang, D. 2014. MAHASRI and AMY. *The 7th International Scientific Conference on the Global Water and Energy Cycle*, July, The Hague, Netherland.
- Matsumoto, J., Wang, B., Wu, G.-X., Li, J., Wu, P.-M., Ogino, S. Y., Mori, S., Yamanaka, M.D., Endo, N., Kubota, H., Xu, J., Hattori, M., Inoue, T., Koike, T., Tamagawa, K., Ikoma, E., Kinutani, H., Wang, D., Kamahori, H., Kamiguchi, K. and Ailikun, B. 2013. MAHASRI, AMY, MAIRS and Future Earth. *MAIRS Open Science Conference Abstracts: 26-27*, April, Beijing, China.
- Matsumoto, J., Wu, P.-M., Endo, N., Ogino, S. Y., Hattori, M., Mori, S., Yamanaka, M.D. and Syamsudin, F. 2014. Asian monsoon hydroclimate. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- 遠藤伸彦・松本 淳 2014. 20世紀におけるベトナム中部の秋季降水特性変動. 日本気象学会 2014年度春季大会講演予稿集 **105**: 89, 5月, 横浜.
- Endo, N. and Matsumoto, J. 2014. Historical data in French Indochina and variations in precipitation characteristics in central Vietnam during boreal fall over the 20th century. *ACRE Southeast Asia Workshop*, May, Bangi, Malaysia.
- Endo, N. and Matsumoto, J. 2015. Precipitation characteristics in the Mekong River Basin during the twentieth century : Importance of sata rescue. *The Fourth International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region: 25-28*, March, Hanoi, Vietnam.
- 遠藤伸彦・松本 淳 2015. メコン河流域における降水特性の復元. 2015年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **87**: 87, 3月, 世田谷.

- Fukutomi, Y., Wu, P.-M. and Matsumoto, J. 2014. Recent changes in heavy precipitation occurrences along the eastern coast of the Indochina Peninsula. *Abstracts of Japan Geoscience Union 2014 Meeting*: ACG04-P02, April, Yokohama.
- Inoue, T. and Matsumoto, J. 2014. Synoptic conditions and interannual variability of pre-monsoon precipitation over Northeast Thailand. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- 井上知栄・松本 淳 2014. インドシナ半島における3~4月降水量の年々変動と循環場との関係. 日本気象学会 2014年度秋季大会講演予稿集 **106**: 244, 10月, 福岡.
- Inoue, T. and Matsumoto, J. 2015. Interannual and Long-term Variations of Seasonal Rainfall over Indochina Peninsula. *The Fourth International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region*: 29-31, March, Hanoi, Vietnam.
- 上米良秀行・松本 淳・山本宗尚・牛尾知雄・岩見洋一 2014. モンスーンアジアの複数流域における GSMaP_MVK/Gauge の性能調査(続報). GSMaP 研究会, 5月, 柏.
- Kamimera, H., Nabesaka, S., Syamsudin, F., Ngo-Duc, T., Le-Viet, X., Hernando, H.T., Matsumoto, J., Ushio, T. and Iwami, Y. 2014. Assessment of GSMaP satellite rainfall products in Asian monsoon region. *Abstracts of Japan Geoscience Union 2014 Meeting*: ACG04-10, April, Yokohama.
- Kamimera, H., Nabesaka, S., Syamsudin, F., Ngo-Duc, T., Le-Viet, X., Hernando, H.T., Matsumoto, J., Ushio, T. and Iwami, Y. 2014. Assessment of GSMaP satellite rainfall products in Asian monsoon region. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- 上米良秀行・Ngo-Duc, T.・Le-Viet X.・松本 淳・牛尾知雄・岩見洋一 2014. ベトナム中部地域における衛星雨量プロダクト GSMaP の性能調査. 水文・水資源学会 2014年度研究発表会要旨集: 100034, 9月, 宮崎.
- Kamimera, H., Ngo-Duc, T., Le-Viet X., Matsumoto, J. and Iwami, Y. 2015. Rain-gauge, radar and satellite rainfall intercomparison in Central Vietnam. *The Fourth International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region*: 43-46, March, Hanoi, Vietnam.
- Kim, H.J., Takata, K., Tanaka, K., Yamashima, R., Matsumoto, J., Saito, K., Takemura, T. and Yasunari, T. 2014. Regional climatic effects according to different estimations of biogenic volatile organic compounds during the Asian summer monsoon. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- Kubota, H., Shirooka, R., Matsumoto, J., Cayanan, E.O. and Hilario, F. 2014. Intensive observation PALAU2013 and data rescue study for Philippine summer monsoon onset. *The 31th AMS Conference on Hurricanes and Tropical Meteorology*, April, San Diego, USA.
- 久保田尚之・松本 淳・Cayanan, E.O.・Hilario, F. 2014. 2013年台風30号はフィリピンに上陸した観測史上最強の台風だったか?. 日本気象学会2014年度秋季大会講演予稿集 **106**: 53, 10月, 福岡.
- Kubota, H., Shirooka, R., Matsumoto, J., Cayanan, E.O. and Hilario, F. 2014. Philippine summer monsoon onset – Intensive observation PALAU2013 and data rescue for 109 years. *Abstracts of Japan Geoscience Union 2014 Meeting*: ACG04-07, April, Yokohama. (Invited)
- Kubota, H., Shirooka, R., Matsumoto, J., Cayanan, E.O. and Hilario, F. 2014. Philippine summer monsoon onset - Intensive observation PALAU2013 and data rescue for 109 years. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- Mori, S., Hamada, J. I., Wu, P.-M., Ichiyanagi, K., Hattori, M., Kamimera, H., Arbain, A., Lestari, S., Sulistyowati, R., Syamsudin, F., Hashiguchi, H., Matsumoto, J. and Yamanaka, M. D. 2014. Local circulations and diurnal convections formed along coastal zones over the Indonesian maritime continent key to understanding the IMC weather and climate. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- Mori, S., Hamada, J. I., Wu, P.-M., Ichiyanagi, K., Hattori, M., Kamimera, H., Arbain, A., Lestari, S., Sulistyowati, R., Syamsudin, F., Hashiguchi, H., Matsumoto, J. and Yamanaka, M. D. 2015. Radar observations of coastal heavy precipitation in Indonesia. *Asian Monsoon Hydroclimate -Review of MAHASRI and Beyond-*, March, Nagoya.
- Ngo-Duc, T., Ngo-Thanh, H., Nguyen-Thanh, H., Vu-Thanh, H. and Matsumoto, J. 2014. On the revision of some different rainy season onset criteria for Vietnam. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual*

- Meeting, July, Sapporo.
- 荻野慎也・藤原正智・野津雅人・塩谷雅人・長谷部文雄・松本 淳 2014. ベトナム・ハノイのプレモンスーン期下部対流圏に現れるオゾン増大. 第8回MUレーダー・赤道大気レーダーシンポジウム, 9月, 宇治.
- Ogino, S. Y., Fujiwara, M., Shiotani, M., Hasebe, F., Matsumoto, J. and Hoang, G.H. 2014. Lower-tropospheric ozone increase over the Indochina Peninsula observed by ozonesonde observations in Hanoi, Vietnam. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*, July, Sapporo. (Invited)
- Ogino, S. Y., Wu, P.-M., Hattori, M., Endo, N., Kubota, H., Inoue, T. and Matsumoto, J. 2014. Cold surge event observed by the research vessel Hakuho-maru over the Pacific in December 2012. *Abstracts of Japan Geoscience Union 2014 Meeting*: ACG04-02, April, Yokohama.
- Ogino, S.-Y., Fujiwara, M., Nodzu, M.I., Shiotani, M., Hasebe, F., Matsumoto, J. and Hoang, G.H. 2015. The lower tropospheric ozone increase over the Indochina Peninsula revealed by ozonesonde observations at Hanoi, Vietnam. *The Fourth International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region*: 55, March, Hanoi, Vietnam.
- Villafuerte II, M.Q., Matsumoto, J. and Kubota, H. 2014. Historical rainfall records in the Philippines: What do they tell us about extremes? *The 10th National Hydrological-Meteorological Convention of the Philippine Meteorological Society*, November, Quezon City, Philippines.
- Villafuerte II, M.Q., Matsumoto, J. and Kubota, H. 2015. Influence of global warming on extreme rainfall confirmed using historical rainfall records in the Philippines. *Filipino International Researchers, Scholars, and Trainees Symposium*, January, Antipolo City, Philippines.
- 伍 培明・福富慶樹・松本 淳 2014. インドシナ東海岸に持続的豪雨をもたらした熱帯擾乱の発達・維持に MJO の影響. 日本気象学会 2014 年度春季大会講演予稿集 **105**: 331, 5 月, 横浜.
- 高橋日出男 2014. 都市がつくる気候環境. 平成 26 年度都立武蔵高等学校スプリングセミナー, 5 月, 八王子.
- 高橋日出男 2014. 観測データから探る東京の短時間強雨. サイエンスカフェ「えねるぎいっ亭」, 10 月, 法政大学市ヶ谷キャンパス.
- 高橋日出男 2014. 都市気候を観測データから探る. 平成 26 年度オープンユニバーシティ特別講座 市民のための自治入門セミナー, 11 月, 首都大学東京飯田橋キャンパス.
- 高橋日出男 2015. 東京の局地的豪雨 (ゲリラ豪雨) を学ぶ・知る. 国立市地域展開講座, 1 月, 国立市.
- 高橋日出男・斎藤勇人・瀬戸芳一・横山 仁 2014. 稠密な地上風監視に基づく東京都区部の短時間強雨予測可能性の検討. 日本気象学会 2014 年度春季大会講演予稿集 **105**: 136, 5 月, 横浜.
- 鈴木博人・大島竜二・中北英一・高橋日出男 2015. 雨量計による大雨の捕捉性能の評価と雨量計の受持ち区間の見直し方法に関する研究. 第 59 回水工学講演会 #218 (CD-ROM), 3 月, 新宿.
- 鈴木博人・高橋日出男・中北英一 2014. 関東平野における大雨の空間スケール複数の機関の降雨量データを用いた解析. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 281, 10 月, 福岡.
- 濱田純一・松本 淳・森 修一・伍 培明・服部美紀・山中大学 2014. 海大陸域の降水経年変動に及ぼすモンスーンの影響. 日本気象学会2014年度春季大会講演予稿集 **105**: 91, 5 月, 横浜.
- Hamada, J. I., Hattori, M., Wu, P.-M., Mori, S., Matsumoto, J., Yamanaka, M. D. Haryoko, U., Lestari, S. and Syamsudin, F. 2014. Effects of the Asian winter monsoon on the interannual rainfall variability over the Indonesian maritime continent. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- 濱田純一・Sopia Lestari・Fadli Syamsudin・Sunarno・松本 淳・山中大学 2014. 海大陸域東部における豪雨出現の年々変動とENSOとの関連. 日本気象学会2014年度秋季大会講演予稿集 **106**: 376, 10月, 福岡.
- Wu, P.-M., J. -I. Hamada, S. Mori, F. Syamsudin, and M. D. Yamanaka, 2014: Nighttime increase in upper tropospheric water vapor observed over Sipora Island of the western coast of Sumatra Island. *Abstract of the AOGS 11th Annual Meeting*, AS38-P012, July, Sapporo.
- 伍 培明・森 修一・濱田純一・服部美紀・山中大学 2014. 2010年2月ジャワ島西部の山岳域における降雨の観測. 日本気象学会2014年度秋季大会講演予稿集 **106**: A103, 10月, 福岡.

- Takahashi, H.G., 2014. Trend and variability in column-integrated water vapor and water vapor recycling. 7th International Scientific Conference on the Global Water and Energy Cycle, July, Hague, Netherland.
- Takahashi, H.G. 2015. Role of Tropical Cyclones along the Monsoon Trough in the 2011 Thai Flood and Interannual Variability. *Asian Monsoon Hydroclimate -Review of MAHASRI and Beyond-*, March, Nagoya.
- 高橋 洋・藤波初木 2014. 東南アジアモンスーン域の降水の年々変動における熱帯擾乱活動の役割. 日本気象学会 2014 年度春季大会講演予稿集 **105**: 90, 5 月, 横浜.
- 高橋 洋・松本 淳 2014. 日本の冬季における豪雪の長期変動と年々変動. 2014 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **86**: 159, 9 月, 富山.
- 高橋 洋・藤田実季子・原 政之・増田耕一 2014. 観測・再解析・CMIP5 モデルによるカラム積算水蒸気量と水蒸気リサイクリングの経年変動. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 487, 10 月, 福岡.
- 高橋 洋・渡辺真吾・高田久美子 2014. MIROC-ESM によるエアロゾルの直接効果及び間接効果の見積もり: 熱帯域と中緯度域との違い. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 260, 10 月, 福岡.
- 杉本志織・高橋 洋 2014. バングラディッシュおよびその周辺域での降水過程に対する陸面状態の影響. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 370, 10 月, 福岡.
- 杉本志織・佐藤友徳・佐々木智規 2014. 北海道の土地利用改変に伴う都市域の気温変化. 日本気象学会 2014 年度春季大会講演予稿集 **105**: 423, 5 月, 横浜.
- Sugimoto S., Sato T. and Sasaki T. 2014. An impact of historical land-cover conversion on regional climate change during winter in Hokkaido Island, Japan. *3rd Lund Regional-scale Climate Modelling Workshop*, June, Lund, Sweden.
- Sugimoto S., Sato T. and Sasaki T. 2014. An impact of historical land-cover conversion on regional climate change during winter in Hokkaido Island, Japan. *7th International Scientific Conference on the Global Water and Energy Cycle*, July, Hague, Netherland.
- 杉本志織・佐藤友徳・佐々木智規 2014. 北海道の農地化に伴う冬季の気候変化. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 409, 10 月, 福岡.
- 稲津 将・佐藤友徳・山田朋人・久野龍介・杉本志織・M.A. Farukh・Y.N. Pokhrel・呉修一 2014. 北海道における夏季気候変動に関するマルチGCM×マルチRAM実験による力学的ダウンスケーリング. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 125, 10 月, 福岡.
- 松村伸治・杉本志織・佐藤友徳 2014. 近年の梅雨活発化に伴った太平洋高気圧の強化. 日本気象学会 2014 年度春季大会講演予稿集 **105**: 119, 5 月, 横浜.
- Matsumura, S., Sugimoto S. and Sato T. 2014. Recent Intensification of the Western Pacific Subtropical High Accompanied with the Baiu-rainband Activity. *AOGS 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- Matsumura S., Sugimoto S. and Sato T. 2014. Recent intensification of the western Pacific subtropical high associated with East Asian summer monsoon, *AGU Fall Meeting*, December, San Francisco.
- 佐藤友徳・稲津 将・山田朋人・久野龍介・杉本志織・M. A. Farukh・Y. N. Pokhrel・呉修一 2014. マルチGCM-マルチRAM ダウンスケーリング実験による北海道の冬季気候予測の不確実性評価. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 356, 10 月, 福岡.
- Sato T., Sugimoto S. and Sasaki T. 2014. Seasonally and diurnally different response of surface air temperature to historical urbanization in Sapporo, North Japan, *AGU Fall Meeting*, December, San Francisco.
- Yamada, T. J., Inatsu M., Sato T., Nakamura K., Sugimoto S., Farukh M., Komatsu A. and Matsuoka N. 2014. Development and Application of Comprehensive Downscaling Methods for Hokkaido Region, Japan. *AOGS 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- Dado, J.M., Cruz, F.A., Cheng-Chua, K., Gozo, E., Narisma, G.T. 2015. Determining climate change impacts hotspots in Southeast Asia: Extremes Analysis. *The Fourth International Workshop on Climatic Changes and Evaluation of their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region*, March, Hanoi, Vietnam.
- Narisma, G.T., Cruz, F.A., Dingkuhn, M., Cheng-Chua, K., Kumar, U., Dado, J.M., Gozo, C. 2015. Downscaled global climate model data for crop model applications on two rice growing regions in the Philippines. *The Fourth International Workshop on Climatic Changes and Evaluation of their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region*,

- March, Hanoi, Vietnam.
- 牧田広道・松本 淳 2014. 衛星輝度温度差を用いた黄砂を含む雲システムの解析. 日本気象学会関西支部
年会講演予稿集: 1-4, 6月, 大阪.
- Matsuzaki, Y. and Matsumoto, J. 2015. The Impact of Cold Surge on Tropical Convections in Southeast Asia, *The
Fourth International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon Region*: 66-
69, March, Hanoi, Vietnam.
- 中島 虹・高橋日出男 2014. 関東平野南部の大気汚染物質濃度分布に与える海風の影響. 日本気象学会
2014 年度春季大会予稿集 **105**: 393, 5月, 横浜.
- 中島 虹・高橋日出男 2014. 連続した海風日における大気汚染物質濃度の時間変化. 2014 年日本地理学会
秋季学術大会発表要旨集 **86**: 123, 9月, 富山.
- 中島 虹・高橋日出男 2014. 連続する海風日における大気汚染物質濃度の変化. 日本気象学会 2014 年度秋
季大会予稿集 **106**: 427, 10月, 福岡.
- Nguyen-Le, D. and Matsumoto, J. 2015. Decadal change in the withdrawal of the autumn rainy season over Central
Vietnam. *The Fourth International Workshop of Climatic Changes and Their Effects on Agriculture in Asian Monsoon
Region*: 32-35, March, Hanoi, Vietnam.
- Nguyen-Le, D., Matsumoto, J. and Ngo-Duc T. 2014. Interannual variability of rainy seasons onset over the eastern
Indochina Peninsula. *Abstracts of Japan Geoscience Union 2014 Meeting*: ACG04-04, April, Yokohama.
- Nguyen-Le, D., Matsumoto, J. and Ngo-Duc, T. 2014. Interannual variability of rainy season onset over eastern
Indochina Peninsula. *2014 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*, July, Sapporo.
- Nguyen-Le, D., Matsumoto, J. and Ngo-Duc, T. 2014. Interannual variability of rainy season onset over eastern
Indochina Peninsula, *International Geographical Union Regional Conference*, August, Krakow, Poland.
- 瀬戸芳一・高橋日出男 2014. 関東平野における夏季日中の局地風系出現型と気温分布との関係. 2014 年日
本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **86**: 162, 9月, 富山.
- 瀬戸芳一・高橋日出男 2014. 関東平野における夏季日中の収束・発散場からみた近年の局地風系の特徴.
日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 428, 10月, 福岡.
- 瀬戸芳一・横山 仁・安藤晴夫・常松展充・中谷 剛・小司禎教・楠 研一・中山雅哉・高橋日出男 2014. 東
京都区部で発生した短時間強雨時の降水量分布と地上風系・可降水量との関係. 日本気象学会 2014 年度
春季大会講演予稿集 **105**: 134, 5月, 横浜.
- Seto, Y., Yokoyama, H., Ando, H., Tsunematsu, N., Nakatani, T., Shoji, Y., Kusunoki, K., Nakayama, M. and Takahashi,
H. 2014. Relationship between rainfall distribution, surface wind and precipitable water vapor during heavy rainfall
occurred in central Tokyo in summer. *Abstracts of Second International Workshop on Tokyo Metropolitan Area
Convection Study for Extreme Weather Resilient Cities*: 16, November, Tokyo.
- 常松展充・横山 仁・本條 毅・市橋 新・安藤晴夫・松本 太・瀬戸芳一 2014. ヘリ搭載サーモカメラによ
り観測された東京都心エリアの地表面温度分布とヒートアイランド対策効果の検証—2013 年と 2007 年
の比較. 日本地球惑星科学連合 2014 年大会: A-AS23-07, 4月, 横浜.
- 常松展充・横山 仁・本條 毅・市橋 新・安藤晴夫・松本 太・瀬戸芳一 2014. 熱赤外リモートセンシング
による東京都心のヒートアイランド対策効果の調査研究. 日本ヒートアイランド学会第 9 回全国大会予
稿集: 110-111, 7月, 佐賀.
- Villafuerte II, M.Q. and Matsumoto, J. 2014. Significant influences of global mean temperature and ENSO on extreme
rainfall over Southeast Asia. *European Geosciences Union General Assembly*, April, Vienna, Austria.
- 藤間由佳・大和広明・高橋日出男 2014. 東京都における都市キャノピー層内の気温の時空間変動と局地風
系との関係. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 425, 10月, 福岡.
- 神澤 望・高橋 洋 2014. CMIP5 による夏季アジアモンスーン域における降水量の将来変化予測. 日本気象
学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 243, 10月, 福岡.
- 木村恭徳・高橋日出男 2014. 東京の都心から西郊に現れる冬季夜間の気温急変域と季節風吹走との関係.
2014 年日本地理学会秋季学術大会都市気候環境研究グループ研究例会, 9月, 富山.

- 木村恭徳・高橋日出男 2014. 東京の都心西方における冬季夜間の気温分布と風系との関係. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 259, 10 月, 福岡.
- 二宮大輝・高橋 洋 2014. 冬季東アジアモンスーン季節内変動の長期変化. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 482, 10 月, 福岡.
- 山地萌果・高橋 洋 2014. エアロゾル-雲-降水の相互作用に着目したエアロゾルの光学的厚さの年々変動の非対称性. 日本気象学会 2014 年度秋季大会予稿集 **106**: 240, 10 月, 福岡.
- 横山士実・高橋 洋・杉本志織 2014. チベット高原上で発生・東進する対流活動の統計的研究. 日本気象学会 2014 年度秋季大会講演予稿集 **106**: 242, 10 月, 福岡.
- 宮地友麻 2015. 東シナ海における冬期海面水温変動のメカニズム. 第 63 回全国地理学専攻学生卒業論文発表大会, 3 月, 小金井.

3 環境地理学研究室

1) スタッフ

渡邊 眞紀子 (わたなべ まきこ) 教授 / 学術博士
土壌地理学, 環境動態解析, 地考古学

川東 正幸 (かわひがし まさゆき) 准教授 / 博士 (農学)
土壌生態学, 環境化学, 生態系の物質循環

2) 研究概要

この研究室では、環境と人間とのダイナミックな関係に着目しながら、地域・地球環境の変化あるいは改変をいろいろな時・空間スケールの局面でとらえて、総合的に理解しようとする研究を展開しています。そのため、自然地理学を基礎にして、土壌学、植物生態学、植物社会学、微生物学、菌学、林学、環境化学、情報科学、文化財科学などの諸科学と密接な連携を保ちながら、幅広い研究活動を行います。研究手法としては、現地での土壌調査、動植物調査、陸水調査、聞き取り調査などの調査・モニタリング観測を基本としますが、リモートセンシングデータ等の利用・解析および現地で採取した各種の環境試料の理化学分析による環境動態の把握、分析・調査法の開発にも取り組んでいます。研究地域は国内から広く海外に及び、海外では、ヨーロッパ、ロシア、中国、東南アジア、北アフリカの各地域で、寒帯・熱帯・亜熱帯・半乾燥・砂漠地域の環境変化と人間対応の研究に重点を置いています。最近の主要なテーマには、以下のものがあります。

- 1) 都市土壌の土壌調査技術の開発と性状・機能の解明と分類・評価手法の開発
- 2) 冷温帯林の物質循環と土壌生態システムの解明
- 3) エジプト西方砂漠における遺跡・水資源に関する地考古学的研究
- 4) フィリピン・ルソン島丘陵地帯における小規模溜池灌漑をとりまく環境動態の解析
- 5) 流域の人為圧が下流域の水環境に及ぼす影響の解明
- 6) 陸域生態系での火災の地形、植生、土壌に及ぼす影響の評価
- 7) 都市生態系における炭素・窒素収支の解明
- 8) 土壌の炭素貯留ポテンシャルと母材との関係

3) 研究成果 (2014 年度)

原著論文・展望論文 (査読付きの論文)

- 渡邊眞紀子・杉村俊郎・亀井宏行 2014. 時系列衛星画像を活用したエジプト西方沙漠ハルガ・オアシスの土地利用変化と特徴の抽出. *日本リモートセンシング学会誌* **34**: 356-366.
- Alidoust, D., Kawahigashi, M., Yoshizawa, S., Sumida, H., Watanabe, M. 2015. Mechanism of cadmium biosorption from aqueous solutions using calcined oyster shells. *Journal of Environmental Management* **150**: 103-110.
- Amasya, A. F., Narisawa, K., Watanabe, M. 2015. Analysis of sclerotia-associated fungal communities in cool-temperate forest soils of north Japan. *Microbes and Environments* **30**: <http://dx.doi.org/10.1264/jsme2.ME14135>
- Diene, O., Sakagami, N., Narisawa, K. 2014. The role of dark septate endophytic fungal isolates in the accumulation of Cesium by Chinese cabbage and tomato plants under contaminated environments. *PLoS ONE* **9**: e109233. doi:10.1371/journal.pone.0109233

その他の論文 (査読なしの論文, 紀要・単行本の分担執筆を含む)

- Inubushi, K., Nagano, H., Kawashigashi, M., Prikhodko, V. E. 2014. Forms of the carbon and nitrogen and greenhouse gases emission of the soils *In* Arkaim: the Bronze Age fortified settlement of the steppe Trans-Ural pp196-207 (in

Russian), soil-archaeological research the Academic Council of IPBPSS RAS, Moscow.

編著書 (単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

なし

報告書

佐藤達雄・坂上伸生 2014. <海外研修>インドネシア海外実地研修について (2011 年度). 農学国際協力
13: 81-84.

書評

なし

その他の報文 (技術レポート, 商業誌, 解説・雑録など)

森下瑞貴 2015. ペドロジストのための地形学・第四紀地質学講座に参加して. ペドロジスト 58: 120-121.

講演・学会発表

Watanabe, M., Miyajima, S., Osato, Y. 2014. Characteristics of heat and water transfer in man-made soils in urban area.
In Technogenic soils developed on settlements, soil formation, properties and utilization. (都市域を含む開発地域の
の土壌の生成・性状・利用). 日本土壌肥料学会講演要旨集 60: 204, 9 月, 東京.

Watanabe, M., Miyajima, S., Osato, Y. 2014. Characteristics of heat and water transfer in man-made soils in urban area.
Kenkyukan, Tokyo Metropolitan University. September, Hachioji, Japan.

Watanabe, M., Koizumi, N., Kato, S., Kikuchi, R. Kamei, H. 2014. Characterization of magnetic spherical fractions in
sand deposits for interpretation of environmental change around the El- Zayyan temple, Kharga Oasis, Western Desert,
Egypt. European Geosciences Union General Assembly, May, Vienna, Austria.

Amasya, A., Narisawa, K., Watanabe, M. 2014. Fungal community in sclerotia of Japanese beech forest soils in northern
Japan. European Geosciences Union General Assembly May, Vienna, Austria.

Hardenbicker, U., Watanabe, M., Kotowitch, R. 2014. Product Index as an indicator of weathering within an alluvial fan
profile. The 38th annual conference of the Prairie Division of the Canadian Association of Geographers (CAG),
September, Manitoba, Canada.

Kawahigashi, M. Prokushkin, A., Sumida H. 2014. Heating effects on biodegradation of organic horizons under larch
forest in the Siberian taiga forest. World Congress of Soil Science, June, Jeju, Korea.

Kida, K., Kawahigashi, M. 2014. Influence of asphalt pavement on major element forms in subgrade soils. World
Congress of Soil Science, June, Jeju, Korea.

川東正幸 2014. 環境中に存在する天然有機物研究の過去と未来—土壌有機物の動態—. 日本腐植物質学会:
15-16, 11 月, 神奈川.

川東正幸・木田仁廣 2014. アスファルト舗装が下層土壌の元素動態に及ぼす影響～炭素循環に着目して～.
日本土壌肥料学会東京大会, 日本土壌肥料学会講演要旨集 60: 215, 9 月, 東京.

森下瑞貴・川東正幸 2014. 相模平野に分布する埋没泥炭の分解過程—化学構造解析からの検討—. 日本第
四紀学会 2014 年大会, 講演要旨集: 67, 9 月, 千葉.

松平隼人・森下瑞貴・宮島聖也・木田仁廣・大里陽一・渡邊眞紀子・川東正幸 2015. 都市緑地「海の森」
公園における植栽基盤の土壌化過程. 日本ペドロロジー学会講演要旨集: 13, 3 月, 東京.

木田仁廣・川東正幸 2015. 都市化により拡大する道路舗装下土壌の特徴付け. 日本地理学会講演要旨集 87:
144, 3 月, 東京.

渡邊瑞希・森島済・Collado, M.・渡邊眞紀子 2015. フィリピン・中部ルソン地域の丘陵地におけるマンゴ
ーの生長と土壌性状の関係. 日本地理学会講演要旨集 87: 75, 3 月, 東京.

白井正明・渡邊眞紀子・首都大学東京・2013 年台風 26 号伊豆大島災害調査グループ 2014. 2013 年 10 月

伊豆大島土石流災害の発生に対する道路の関与. 日本地球惑星科学連合大会: 5 月, 幕張.
塩津文隆・坂上伸生・Nurwulan, A.・浅木直美・Dewa, N.S.・小松崎将一・新田洋司 2014. インドネシアに
おける米の嗜好性—米の品質・食味の観点から—. 日本水稲品質・食味研究会第 6 回講演会講演要旨
集: 41, 11 月, 京都.
茗荷傑 2014. 渡良瀬川河川敷の土地機能喪失に関する研究. 日本地理学会秋季学術大会要旨 **86**: 169, 9 月,
富山.

4 地理情報学研究室

1) スタッフ

松山 洋 (まつやま ひろし) 准教授 / 博士 (理学)
水文気象学, 地理情報科学

泉 岳樹 (いずみ たけき) 助教 / 博士 (工学)
都市気候学, 地理情報科学, 数値気象モデリング

中山 大地 (なかやま だいち) 助教 / 博士 (理学)
地理情報科学, リモートセンシング, 数値地形学

2) 研究概要

本研究室では、地形・気候・水文・植生などから構成される自然環境についての総合的理解を目指している。具体的には、質量保存・エネルギー保存・運動方程式などの物理法則に基づいて、原因から結果を説明しようとするアプローチと、フィールドでの調査・観測に基づいて事実を実証的に示そうとするアプローチを組み合わせる研究を進めている。このため、定量的データの収集・マッピング・統計解析・数値モデル・GIS (地理情報システム) などが主要な研究手法となっている。

教員の研究と大学院生・卒論生の指導、および地理環境科学調査法 (V) を通じて取り組んでいきたいテーマには次のようなものがある。

- ・大気圏・水圏のエネルギーと水の循環に関する研究
- ・積雪分布および積雪水資源量の把握と融雪一流出に関する研究
- ・針葉樹の分光反射特性と葉面積指数の定量的評価に関する研究
- ・阿蘇周辺および東京周辺の水環境に関する研究
- ・都市気候と局地風の数値シミュレーションに関する研究
- ・GIS を活用した都市の地表面状態の把握に関する研究
- ・自然環境と自然災害のモニタリング・モデリングに関する研究

3) 研究成果 (2014 年度)

原著論文・展望論文 (査読付きの論文)

松山 洋 2014. 「まつぼり風」に対する吹走地域居住者の意識— (2) 大津東小学校に通う児童の言説を対象として—. 地学雑誌 **123**: 378-387.

坂本 壮・稲村友彦・泉 岳樹・松山 洋 2014. 「まつぼり風」の吹走範囲と吹走メカニズムに関する実証的研究～現地観測とメソ気象モデルに基づいて～. 天気 **61**: 977-996.

Saito, H., Korup, O., Uchida, T., Hayashi, S. and Oguchi, T. 2014. Rainfall conditions, typhoon frequency, and contemporary landslide erosion in Japan. *Geology* **42**: 999-1002.

Korup, O., Hayakawa, Y. S., Codilean, A., Matsushi, Y., Saito, H., Oguchi, T. and Matsuzaki, H. 2014. Japan's sediment flux to the Pacific Ocean revisited. *Earth-Science Reviews* **135**: 1-16.

小花和宏之・早川裕弐・齋藤 仁・ゴメス クリストファー 2014. UAV-SfM 手法と地上レーザ測量により得られた DSM の比較. 写真測量とリモートセンシング **53**: 67-74.

Yamanaka, M., Bottrell, S.H., Wu, J., Kumagai, Y., Mori, K. and Satake, H. 2014. Chlorine stable isotope evidence for salinization processes of confined groundwater in southwestern Nobi Plain aquifer system, central Japan. *Journal of Hydrology* **519A**: 295-306.

その他の論文（査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む）

- 松山 洋 2014. 第2章 第1節 第6項 八王子の地下水と土壌, 第2章 第1節 第7項 八王子の河川, 第2章 第3節 第6項 酸性雨について. 八王子市市史編集委員会編『新八王子市史 自然編』八王子市: 59-73, 166-168.
- 松山 洋 2014. 1. 連動する東南アジアとオセアニアの自然環境. 菊地俊夫・小田宏信編『東南アジア・オセアニア』朝倉書店: 1-16.
- 松山 洋 2014. コラム 9 ツバルにおける地球温暖化の影響. 菊地俊夫・小田宏信編『東南アジア・オセアニア』朝倉書店: 149.
- 松山 洋 2015. 12. 自然ツーリズムと災害—自然災害のリスク管理として—. 菊地俊夫・有馬貴之編『自然ツーリズム学』朝倉書店: 123-133.
- 松四雄騎・齋藤 仁・土志田正二 2014. GIS を用いた斜面変動地形解析. 新日本編集企画編『斜面崩壊対策技術—メカニズム・センシング・監視システム・新施工法—』エヌ・ティー・エス: 96-105.
- 三田明寛・大八木英夫・森 和紀 2015. 降雨時間の経過に伴う降雨の水質特性の変化—東京都内の事例—. 日本大学文理学部自然科学研究所研究紀要 **50**: 115-123.

編著書（単著・共著・編集など、分担執筆は含まない）

- 松山 洋・川瀬久美子・辻村真貴・高岡貞夫・三浦英樹 2014. 『自然地理学』ミネルヴァ書房: 308p.
- 森 和紀・佐藤芳徳 2015. 『図説 日本の湖』朝倉書店: 164p.

報告書

- 松山 洋 2014. 植生表面にできるカゲ比率と植生の二方向性反射特性の関係. 千葉大学環境リモートセンシング研究センター平成 25（2013 年度）年報 **19**: 53-55.
- 松山 洋 2014. 東京の湧水・地下水の変遷と土地利用の経年変化との関係, および将来予測に関する研究. 旭硝子財団助成研究成果報告 2014: 50-51 および CD-ROM.
- 齋藤 仁・松山 洋 2014. 長期間の事例解析に基づく豪雨災害・土砂災害モニタリングシステムの運用と防災情報への活用. 財団法人国土地理協会学術研究助成研究成果報告書: 22p.

書評

- 松山 洋 2014. 書架（沖 大幹: 東大教授）. 地理 **59**(9): 95.
- 松山 洋 2015. 書架（椎野若菜・白石壮一郎編: 100 万人のフィールドワーカーシリーズ 1 フィールドに入る）. 地理 **60**(3): 114.
- 森 和紀 2014. 書評（日本陸水学会東海支部会編: 身近な水の環境科学 [実習・測定編] —自然の仕組みを調べるために—）. 日本水文科学会誌 **44**: 225-226.
- 根元裕樹 2014. 文献紹介（竹内正浩: 地図と愉しむ東京歴史散歩・地形篇）. 地図情報 **34**(3): 22.

その他の報文（技術レポート、商業誌、解説・雑録など）

- 松山 洋 2014. 青森県・岩木川の自然堤防立地地村を訪ねて. 地理月報 No.538: 0-3.
- 松山 洋（コメント） 2014. 広島土砂災害 的中した 15 年前の警告. アエラ **27**(37): 67.
- 松山 洋・泉 岳樹 2014. 自然地理学のフィールドワーカー（7）もう一つの「運と勘」—. 地理 **59**(5): 74-79.
- 仲江川敏之・石田祐宣・風間 聡・立川康人・田中丸治哉・中山恵介・松山 洋・村上茂樹・山中 勤・横尾 善之・陸 旻皎 2014. Hydrological Research Letters の 2014 年現在の状況. 水文・水資源学会誌 **27**: 320-324.
- 泉 岳樹 2014. Session E-7: データ作成 (2). 地理情報システム学会ニューズレター No.92: 12-13.
- 青山雅史 2014. 東北地方太平洋沖地震による内陸部における液状化被害に関するインベントリー作成. 地学雑誌 **123**: N134.
- 根元裕樹 2014. 洪水氾濫シミュレーションが解き明かす備中高松城水攻め. GIS NEXT No. 47: 82.

根元裕樹 2014. 大学で学んで身につけた技能がそのまま生きる仕事です. 首都大学東京 大学案内 2015: 37.

酒井健吾・長谷川宏一・泉 岳樹・松山 洋 2014. 小型 UAV を用いた新しい BRDF 観測システムの構築—森林の三次元構造のリモートセンシングを目指して—. 第 16 回 環境リモートセンシングシンポジウム 資料集: 5-9.

(参考) 坂本 壮 2014. まつぼり風の実態と吹走メカニズムに関する実証的研究—現地調査とメソ気象モデルを用いて—. 新地理 62(2): 69.

講演・学会発表

松山 洋 2014. 東京の湧水・地下水の変遷と土地利用の経年変化との関係, および将来予測に関する研究. 2014 旭硝子財団助成研究発表会要旨集: 164-165, 7 月, 東京.

松山 洋 2014. 東京の湧水・地下水の変遷と土地利用の経年変化との関係, および将来予測に関する研究. 環境科学会 2014 年会プログラム講演要旨集: 168-169, 9 月, つくば.

松山 洋 2014. 東京の水はどこから来るのか?—玉川上水と利根川水系の地表水—. 首都大学東京オープンユニバーシティ 東京の水—現在, 過去, 未来— 第 1 回, 11 月, 飯田橋.

松山 洋 2014. 東京の水はどこから来るのか?—谷頭タイプと崖線タイプの湧水温の長期変化—. 首都大学東京オープンユニバーシティ 東京の水—現在, 過去, 未来— 第 2 回, 12 月, 飯田橋.

松山 洋 2014. 日野市の湧水の特徴に異なるものがあるのはなぜか?—水温と水質に着目して—. 首都大学東京オープンユニバーシティ 東京の水—現在, 過去, 未来— 第 3 回, 12 月, 飯田橋.

松山 洋 2014. 東京の地下水は将来どうなるのか?—地下水流動シミュレーションに基づく将来予測—. 首都大学東京オープンユニバーシティ 東京の水—現在, 過去, 未来— 第 4 回, 12 月, 飯田橋.

松山 洋 2015. もしも地球が立方体だったら. 足利高校 SSH 講演会, 1 月, 足利.

松山 洋 2015. 芦花中プロジョブトーク. 世田谷区立芦花中学校, 3 月, 世田谷.

松山 洋・田中大輔・齋藤 仁 2014. 50 年確率値を用いた土砂災害発生危険度の評価—土壌雨量指数と 1 時間雨量を用いて—. 水文・水資源学会 2014 年度研究発表会要旨集: 136-137, 9 月, 宮崎.

松山 洋・酒井健吾・山本遼介・長谷川宏一・泉 岳樹 2015. UAV (無人航空機) を用いた森林の二方向性反射特性に関する実測的研究—植物の季節変化に注目して—. 第 17 回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム, 2 月, 千葉.

名越利幸・森 厚・木村龍治・松田佳久・松山 洋・酒井 敏・高橋正征・藤田貢崇・鳥越秀行 2014. 「Cubic Earth—もしも地球が立方体だったら—」の地学教育における活用—小・中学校への出前授業の実践を通して—. 平成 26 年度全国地学教育研究大会・日本地学教育学会第 68 回全国大会, 8 月, 江別.

泉 岳樹 2015. 「首都大学東京無人ヘリ災害調査・支援特別班」の活動紹介—災害地における無人ヘリ運用の最前線と今後の展望—. 第 6 回 GIS-Landslide 研究集会および第 2 回高解像度地形情報シンポジウム: P-5, 1 月, 柏.

Izumi, T. and Yamamoto, R. 2014. A study on archives of the revival process from the Great East Japan Earthquake disaster using unmanned aerial vehicle and mobile mapping system—A case study in Iwanuma city, Miyagi prefecture—. *Proceedings of International Symposium on GIS by GIS Association of Japan (CD-ROM)*: A-2-1, November, Kasugai.

Izumi, T., Yamamoto, R. and Osawa, S. 2015. A study on the coastal forest condition using high-resolution images taken by a large UAV and small UAVs imagery archives of the reconstruction process from the Great East Japan Earthquake—A case study in Iwanuma City, Miyagi Pref.—. Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience: No.32. January, Tokyo.

泉 岳樹・山本遼介・大沢啓志 2014. 無人ヘリによる超高解像度画像を用いた海岸林の実態把握の試み. 第 23 回地理情報システム学会研究発表大会梗概集 (CD-ROM) : B-1-5, 11 月, 春日井.

泉 岳樹・酒井健吾・山本遼介・泉 友紀子・瓜田真司・笠間俊雄・増田 稔 2014. 発災時の小型無人ヘリの活用に関する試み—広島市安佐南区の土砂災害地を対象に—. 第 17 回年次シンポジウム (CSIS DAYS

- 2014)「全国共同利用研究発表大会」研究アブストラクト集: 15, 11月, 柏.
- Izumi, Y., Yamamoto, R. and Izumi, T. 2015. A study on creating ultra high resolution orthophoto and DSM using small UAVs—A case study in a disaster area by debris flows in Nagiso Town, Nagano Pref.—. Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience: No.28. January, Tokyo.
- Yamato, H., Usami, M. and Izumi, T. 2015. A investigation report of the tornado disaster at Houjyo, Tukuba, Ibaragi Prif. by latest small UAVs. Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience: No.24. January, Tokyo.
- Omi, H., Sakai, K., Yamamoto, R., Hasagawa, H. and Izumi, T. 2015. A study on creating ultra high resolution orthophoto and DSM using small UAVs—A case study in southern base of the Mt. Yatsugatake in 2014—. Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience: No.25. January, Tokyo.
- 大澤啓志・七海絵里香・泉 岳樹・石川幹子 2014. 仙台平野南部の被災残存海岸林の高解像度画像による樹種判別の試み. 農村計画学会 2014 年度春期大会学術研究発表会, 4月, 東京.
- 下條正人・泉 岳樹・松山 洋 2014. 関東地方南部に大雪をもたらした 2013 年 1 月 14 日の降雪に関する研究—積雪分布の特徴に着目して—. 日本気象学会 2014 年度春季大会講演予稿集 **105**: 369, 5月, 横浜.
- 水戸俊成・泉 岳樹・松山 洋 2014. 風力発電所の立地による風況の違いと発電量の傾向～日本における海岸・丘陵・山岳に立地する 6ヶ所の風力発電所の実測データを用いて～. 日本気象学会 2014 年度春季大会講演予稿集 **105**: 397, 5月, 横浜.
- 青山雅史 2014. 東北地方太平洋沖地震による内陸部における液状化発生域の地形条件と液状化発生面積率. 日本地球惑星科学連合 2014 年大会予稿集: HSC25-P06, 4月, 横浜.
- 青山雅史・小山拓志 2015. 東北地方太平洋沖地震による茨城県神栖市, 鹿嶋市における液状化発生域と砂利採取場分布の変遷との関係. 2015 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **87**: 138, 3月, 世田谷.
- 青山雅史・小堀 昇・川野浩平 2014. 米軍撮影空中写真を用いた建物疎開実施域の判読—釜石市と半田市の事例—. 平成 26 年度日本地図学会定期大会発表論文・資料集: 46-47, 8月, 仙台.
- 齋藤 仁 2015. 地すべりの広域的解析における地理情報システム (GIS) の応用. 2015 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **87**: 25, 3月, 世田谷.
- Saito, H., Murakami, W. and Daimaru, H. 2014. Recurrence intervals and rainfall intensity-duration thresholds for extensive shallow landslide occurrence in granitic mountains of Japan. *EGU General Assembly 2014*: EGU2014-4753, April, Vienna, Austria.
- Saito, H., Korup, O., Uchida, T., Hayashi, S. and Oguchi, T., 2014. Rainfall conditions, typhoon frequency, and contemporary landslide erosion in Japan. *Abstracts of the Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting*: SE05-A005, July, Sapporo.
- 齋藤 仁・村上 亘・大丸裕武・小口 高 2014. 斜面崩壊発生基準雨量と確率雨量との関係—九州山地・一房山と阿武隈山地を対象として. 2014 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **86**: 167, 9月, 富山.
- 齋藤 仁・内山庄一郎・早川裕弐・小花和宏之・泉 岳樹・山本遼介・松山 洋 2014. 阿蘇山周辺における斜面崩壊の発生と地形変化に関する予察的解析—高解像度地形データを用いて—. 第 17 回年次シンポジウム (CSIS DAYS 2014)「全国共同利用研究発表大会」研究アブストラクト集: 13, 11月, 柏.
- 齋藤 仁・村上 亘・大丸裕武・小口 高 2014. 花崗岩山地における斜面崩壊の発生と降雨量および確率降雨との関係—九州山地・市房山と阿武隈山地を対象として—. 森林総合研究所 研究成果発表会「地球温暖化の中で森林を活かす」: T-05, 11月, 東京.
- Saito, H., Murakami, W., Daimaru, H. and Oguchi, T., 2015. Rainfall intensity-duration thresholds and recurrence intervals for landslide occurrences in granitic mountains, Japan. *Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience*: No.06. January, Tokyo.
- 齋藤 仁・内山庄一郎・小花和宏之・早川裕弐・泉 岳樹・山本遼介・松山 洋 2015. 表層崩壊地における低空空撮画像の取得と地形解析への応用—阿蘇山周辺を対象として—. 第 6 回 GIS-Landslide 研究会および第 2 回高解像度地形情報シンポジウム: M-5, 1月, 柏.
- 齋藤 仁・小花和宏之・内山庄一郎・早川裕弐・泉 岳樹・山本遼介・松山 洋 2015. UAV と SfM-MVS を

- 用いた斜面崩壊の発生と地形変化に関する解析. 第 17 回環境リモートセンシングシンポジウム, 2 月, 千葉
- 齋藤 仁・内山庄一郎・小花和宏・早川裕弐・泉 岳樹・山本遼介・松山 洋 2015. UAV と SfM 多視点写真測量を用いた高精細データの取得と地形解析への応用—阿蘇山周辺の表層崩壊を対象として—. 2015 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **87**: 274, 3 月, 世田谷.
- Gomez, C., Obanawa, H., Kato, A., Hayakawa, Y. and Saito, H., 2014. Structure from motion for pointclouds creation from historical imagery and UAV: Monitoring floodplain vegetation evolution in 3D. 5th Digital Earth Summit 2014, November, Nagoya.
- Hayakawa, Y. S., Obanawa, H., Wassmer, P., Oguchi, T. and Saito, H. 2014. Morphological analysis of an uplifted coastal terrace using high definition topographic data: Possible erosion by high waves of tsunamis. *2014 GSA Annual Meeting*: 34-8, October, Vancouver, Canada.
- 飯島慈裕・齋藤 仁・A. N. フォドロフ 2015. 東シベリア・レナ川中流域でのサーモカルスト湖の統計的特長. 2015 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **87**: 289, 3 月, 世田谷.
- 荻谷愛彦・松四雄騎・高岡貞夫・西井綾子・齋藤 仁・佐藤 剛・原山 智 2015. 日本アルプスの大規模地すべりに関する地形学・地質学的知見: まとめ. 2015 年日本地理学会春季学術大会発表要旨集 **87**: 282, 3 月, 世田谷.
- 村上 亘・齋藤 仁・大丸裕武 2014. 九州・市房山北部の山地斜面における崩壊発生と森林伐採の関係について. 森林総合研究所 研究成果発表会「地球温暖化の中で森林を活かす」: T-04, 11 月, 東京.
- 田中大輔・齋藤 仁・松山 洋 2014. スネーク曲線を用いた平成 24 年九州北部豪雨の解析—50 年確率値を用いて—. 日本気象学会 2014 年度春季大会講演予稿集 **105**: 374, 5 月, 横浜.
- Mori, K. 2014. Impacts of recent changes in hydrometeorological component on water sustainability: A case of mesoscale watershed under the humid temperate climate (Keynote Lecture). *International Scientific Conference on “Water Sustainability: New Challenges and Solutions”, Commission for Water Sustainability, International Geographical Union*: 30, August, Dubrovnik, Croatia.
- 森 和紀 2014. 水と私たちの暮らし—島嶼の水資源と水環境を考える—. 小笠原ビジターセンター, 9 月, 小笠原.
- 森 和紀 2014. 水文気象要素の経年変化と“異常気象年”の河川水質. 2014 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **86**: 154, 9 月, 富山.
- Mita, A., Oyagi, H. and Mori, K. 2014. Temporal changes in chemical characteristics of rain water attendant upon the duration of rainfall – A case study in the Greater Tokyo Metropolitan Area –. *International Scientific Conference on “Water Sustainability: New Challenges and Solutions”, Commission for Water Sustainability, International Geographical Union*: 29, August, Dubrovnik, Croatia.
- 山中 勝・Bottrell, S.H.・呉 佳紅・熊谷義弘・森 和紀・佐竹 洋 2014. 塩素および硫黄同位体組成を指標とした被圧地下水の塩水化プロセスの解明. 2014 年日本地下水学会秋季講演会要旨集: 198, 11 月, 熊本.
- 山本遼介・泉 岳樹 2014. 小型無人ヘリを用いた超高解像度オルソ画像と DSM 作成の試み—平成 24 年 7 月九州北部豪雨による斜面崩壊地を対象として—. 第 23 回地理情報システム学会研究発表大会梗概集 (CD-ROM): E-6-3, 11 月, 春日井.
- 山本遼介・泉 岳樹 2014. 小型無人ヘリを用いた超高解像度オルソ画像と DSM 作成の試み—長野県南木曾町の土石流災害地を対象に—. 第 17 回年次シンポジウム (CSIS DAYS 2014) 「全国共同利用研究発表大会」研究アブストラクト集: 17, 11 月, 柏.
- 山本遼介・泉 岳樹・松山 洋 2014. 小型無人ヘリを用いた超高解像度オルソ画像と DSM 作成の試み—平成 24 年 7 月九州北部豪雨による斜面崩壊地を対象として—. 日本地形学連合 2014 年秋季大会, 10 月, 奈良.
- Yamamoto, R. and Izumi, T. 2015. A study on creating ultra high resolution orthophoto and DSM using small UAVs—A case study at landslides caused by the Heavy Rainfall in Northern Kyushu in July 2012—. Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience: No.27. January, Tokyo.

- Yamamoto, R., Izumi, T. and Matsuyama, H. 2014. Land cover classification of urban area using object-based image analysis – A case study of Setagaya ward, Tokyo – . *Proceedings of International Symposium on GIS by GIS Association of Japan (CD-ROM)*: A-4-4, November, Kasugai.
- 山本遼介・泉 友紀子・泉 岳樹 2015. 長野県南木曾町の土石流災害地における小型無人ヘリを用いた調査の報告ー. 第6回 GIS-Landslide 研究集会および第2回高解像度地形情報シンポジウム: P-6, 1月, 柏.
- 酒井健吾・山本遼介・泉 友紀子・泉 岳樹 2015. 広島市の土砂災害地における小型無人ヘリを用いた調査の報告ー. 第6回 GIS-Landslide 研究集会および第2回高解像度地形情報シンポジウム: P-7, 1月, 柏.
- Sakai, K. and Izumi, T. 2015. A study of practical use of small UAVs in a disaster targeting the landslides disaster in Hiroshima-city in August 2014. Tokyo Conference on International Study for Disaster Risk Reduction and Resilience: No.26. January, Tokyo.
- 久富悠生・中山大地・松山 洋 2014. 武蔵野台地における浅層地下水流動の将来予測に関する研究ー4 つの GCM の出力と MODFLOW を用いてー. 日本気象学会 2014 年度春季大会講演予稿集 **105**: 358, 5月, 横浜.
- 清水琢生 2015. GIS を用いたフードデザートの実態把握と将来予測ー富山県富山市を対象としてー. まちなか学生発表大会, 2月, 富山.
- 石川和樹・中山大地 2015. DP マッチングを用いた地名の類似性と時間変化に関する研究 (第2報). 日本地理学会 2015 年度春季学術大会発表要旨集 **87**: 321, 3月, 世田谷.

5 都市・人文地理学研究室

1) スタッフ

杉浦 芳夫 (すぎうら よしお) 教授 / 博士 (理学)
人文地理学

若林 芳樹 (わかばやし よしき) 教授 / 博士 (理学)
都市地理学, 行動地理学, 地理情報科学

滝波 章弘 (たきなみ あきひろ) 准教授 / 博士 (文学)
文化地誌学, フランス語圏研究

坪本 裕之 (つぼもと ひろゆき) 助教 / 博士 (理学)
都市地理学, オフィス研究

原山 道子 (はらやま みちこ) 助教
計量書誌学

2) 研究概要

この研究室は、人文地理学の分野を研究するグループである。人間との関係における地域ないし空間の問題を、人文・社会科学的側面からアプローチし、多様な人文現象の構造的な説明・解釈を目的としている。現在行なわれている研究は、様々なレベルに分類できる。対象地域としては、都市とその周辺地域を中心とし、事象としては産業活動、人間行動や意識、その他の種々の人文・社会現象、方法論としては計量的方法、統計的実証的手法、および文献検証の手法が使われ、対象時期は歴史時代より現代までおよぶ。「専門は深く」、「関心は広く」を標語にして、次のような研究が行われている。

1. 数理モデルによる人文地理的現象の解析：
 - 1) 経済活動の立地
 - 2) 人・物の移動と情報の伝播
 - 3) 頭の中にイメージする地図と空間的行動
 - 4) 時間地理学的研究
2. 地域研究による人文地理的現象の解析：
 - 1) 人間や経済活動や文化活動と環境との関わり合いに関する研究
 - 2) 都市近郊における土地利用変化と諸事象の地域形成に関する研究
 - 3) 人間がつくる地域組織や社会組織に関する研究
 - 4) 環境変化にともなう人間活動の変容に関する研究
3. 都市システムの解析：
 - 1) 都市内部の空間構造の研究
 - 2) 都市群のシステム論的研究
4. 地理思想の研究：
 - 1) 現代地理学の研究史
 - 2) 地理学研究分野の計量書誌学的研究

3) 研究成果 (2014 年度)

原著論文・展望論文 (査読付きの論文)

- 杉浦芳夫 2015. 中心地理論とナチ・ドイツの編入東部地域における中心集落再配置計画. 都市地理学 **10**: 1-33.
- 若林芳樹・小泉 諒 2014. バブル経済期以降の東京23区における人口変化の空間的パターン. 地学雑誌 **123**: 249-268.
- 坪本裕之 2014. 東京都心におけるホワイトカラーの就業空間としてのオフィスとその立地. 地理科学 **69**: 152-163.
- 坪本裕之 2015. バブル経済期以降の広島市中心部における業務地域の変容. 都市地理学 **10**: 89-102.

その他の論文 (査読なしの論文、紀要・単行本の分担執筆を含む)

- 杉浦芳夫 2014. 学史・方法論. 人文地理 **66**: 252-255.
- Koizumi, R. and Wakabayashi, Y. 2014. Changes in the Spatial Patterns of Occupational Structure in the Tokyo Metropolitan Area after the Bubble Economy. Singh, R.B. ed.: Urban Development Challenges, Risks and Resilience in Asian Mega Cities. Tokyo: Springer 251-366.
- 若林芳樹 2015. 空間的思考と GIS. 浅見泰司・矢野桂司・貞広幸雄・湯田ミノリ編『地理情報科学: GIS スタンダード』古今書院 16-21.
- Wakabayashi, Y. 2015. Measurement of geospatial thinking abilities and the factors affecting them. *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University* **50**: 127-136.
- Abe, C. and Wakabayashi, Y. 2015. Changes in childcare services accompanying municipal mergers: a case study of Kahoku City in Ishikawa Prefecture. *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University* **50**: 89-96.

編著書 (単著・共著・編集など、分担執筆は含まない)

- OECD 編著, 中澤高志・神谷浩夫監訳, 久保倫子・鋤塚賢太郎・由井義通・久木元美琴・若林芳樹訳 2014. 『地図でみる世界の地域格差: OECD 地域指標 2013 年版』. 明石書店.

報告書

なし

書評

なし

その他の報文 (技術レポート、商業誌、解説・雑録など)

- 杉浦芳夫 2015. 堀川 侃先生について脳裏に去来することあれこれ. 堀川侃先生追悼文集編集委員会編『堀川侃先生追悼文集』52-63. 名古屋大学地理学教室.

講演・学会発表

- 杉浦芳夫 2015. 開会挨拶: 森川先生の研究について. 森川 洋先生傘寿記念講演会, 3月, 東京.
- 若林芳樹・小泉 諒・久木元美琴・由井義通 2014. GIS を用いた保育サービス需給ギャップの地図化: 東京都の事例. 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 4月, パシフィコ横浜.
- 若林芳樹・小泉 諒・久木元美琴・由井義通 2014. 保育サービスにおける需給ギャップの地図化: 東京都江東区の事例. 2014 年度日本地図学会定期大会, 8月, 東北大学.
- Wakabayashi, Y., Kukimoto, M. and Yui, Y. 2014. Visualization of the supply-demand gap in childcare services with GIS: The case of Naha City, Japan. IGU 2014 Krakaw Regional Conference, August, Krakaw..
- 若林芳樹 2014. 空間的思考の構成とその規定因. 2014 年度日本地理学会秋季学術大会, 9月, 富山大学.
- 阿部智恵子・若林芳樹 2014. 市町村合併にともなう保育サービスの変化—石川県かほく市を事例に—. 2014 年度日本地理学会秋季学術大会, 9月, 富山大学.
- 阿部智恵子・若林芳樹 2014. 市町村合併にともなう保育サービスの変化—石川県の事例—. 日本都市学会

- 第 61 回大会, 10 月, 同志社大学.
- 若林芳樹 2014. ウェブマップの利用パターンとその個人差の規定因. 第 23 回地理情報システム学会学術研究発表大会, 11 月, 中部大学.
- 若林芳樹・小泉 諒 2014. 東京大都市圏における都市空間変化のホット/コールドスポットの抽出と地図化. 2014 年度人文地理学会大会, 11 月, 広島大学.
- Wakabayashi, Y. 2015. Variation in the use of maps on the web: An empirical analysis of web survey data. The International Symposium on Cartography in Internet and Ubiquitous Environments 2015, March 2015, The University of Tokyo.
- 若林芳樹 2015. メンタルマップ再考—居住地選好からみた現代日本の都市と地域—. 森川 洋先生傘寿記念講演会, 3 月, 東京.
- 坪本裕之 2014. 1990 年代中期以降の東京都心業務地域の空間変容—(旧) 事業所・企業統計の小地域集計を用いた分析を中心に—. 日本都市学会第 61 回大会, 10 月, 同志社大学.
- 斎藤敦子・岡田大二郎・坪本裕之 2015. 知的生産性とワークプレイス SOF モデルの事例検証 中間報告. 第 9 回日本ファシリティマネジメント大会, 2 月, 江戸川区.
- 小泉 諒 2014. 変わりゆく東京大都市圏の社会・空間構造 1990 年代以降を対象として. 2014 年度 国士舘大学地理学会講演会, 6 月, 東京.
- 小泉 諒・川口太郎 2014. 2000 年代における東京都心部のマンション供給の空間的パターン. 2014 年日本地理学会周期学術大会発表要旨集 **86: 80**, 9 月, 富山大学.
- 荒堀智彦 2014. 2009 年新型インフルエンザ A(H1N1)pdm の流行とローカルな伝播過程. 2014 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **86: 90**, 9 月, 富山.
- 荒堀智彦 2015. 感染症防疫・健康危機管理と地理学. 2015 年日本地理学会春季学術大会 健康地理研究グループ, 3 月, 日本大学.
- 田中雅大 2014. ボランティアな地理情報による「可能にする空間」の創出. 2014 年日本地理学会秋季学術大会発表要旨集 **86: 711**, 9 月, 富山大学.

6 特定学術研究

教育奨励寄付金による研究 1件

渡邊眞紀子：傾斜的研究費 部局長裁量経費 都市環境マイスター研究費

受託研究費による研究 1件

齋藤 仁：農林水産技術会議 平成 26 年度極端現象の増加に係る農業水資源、土地資源及び森林の脆弱性の影響評価委託事業「極端現象の増加による花崗岩山地の表層崩壊発生リスクの変動予測」

産学共同研究費による研究 3件

高橋日出男：首都大学東京・東京都環境科学研究所共同研究「東京における温暖化とゲリラ豪雨等局地的極端現象の実態解明に関する研究」

高橋日出男：首都大学東京・東日本旅客鉄道株式会社東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本研究開発センター共同研究「降雨量の空間代表性に関する研究」

渡邊眞紀子・大里陽一：首都大学東京産学公連携センター相互負担型共同研究契約、研究課題「地層観察カメラ及びその移動装置の開発」プラムネット株式会社

受託事業費による研究 0件

なし

提案公募型研究費による研究 13件

鈴木毅彦：文部科学省重点調査「立川断層帯における重点的な調査観測」

小嶋智子：日本科学協会 平成26年度笹川科学研究助成「カルデラ形成にかかわる大規模火砕流堆積物の同定手法に関する研究—田沢湖の成因解明を例に—」

松本 淳：首都大学東京傾斜的研究費（全学分）学長裁量枠「雷活動を用いた都市型豪雨の予測可能性」

松本 淳：宇宙航空研究開発機構 PMM 研究公募共同研究「ベトナムにおける水災害軽減へむけた GSMaP と GPM データの検証と応用」

松本 淳：名古屋大学地球水循環研究センター共同研究「アジアモンスーン域における気候変化と植生気候相互作用の解明」

高橋 洋：宇宙航空研究開発機構 PMM 研究公募共同研究「Inter-comparison of multiple rainfall datasets derived from ground-based and satellite-based observations and interannual variations in water recycling in the atmosphere」

高橋 洋：公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団、国内研究助成「領域気候モデルを用いた冬季日本海側における豪雪の長期変動の研究」

高橋 洋：名古屋大学地球水循環研究センター共同研究「地表面状態の変化が気候に及ぼす影響」

高橋 洋：千葉大学環境リモートセンシング研究センター共同研究「熱帯域の雲・エアロゾル・降水の共変動の研究」

松山 洋：平成 26 年度 千葉大学環境リモートセンシング研究センター共同利用研究「UAV（無人航空機）を用いた森林の二方向性反射特性に関する実測的研究～植物の季節変化に注目して～」

青山雅史：東京地学協会平成 25 年度研究・調査助成「東北地方太平洋沖地震による内陸部における液状化被害に関するインベントリ作成」

齋藤 仁：平成 26 年度 千葉大学環境リモートセンシング研究センター共同利用研究「小型 UAV（無人航空機）と SfM（Structure from Motion）を用いた斜面崩壊地の地形変化と植生変化抽出に関する研究」

酒井健吾：平成 26 年度笹川科学研究助成（学術研究部門）「UAV（無人航空機）を用いた森林の BRDF（二方向性反射特性）に関する実測的研究」

科学研究費補助金による研究 13件

- 鈴木毅彦：文部科学省科学研究費補助金基盤研究（B）「火山灰・古地磁気編年による東北日本弧内陸盆地・海岸域における第四紀地形発達の研究」
- 白井正明：日本学術振興会科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「陸域の災害や人類活動が半遠洋的環境の堆積作用に与えたインパクトの解明」
- 松本 淳：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（S）「過去 120 年間におけるアジアモンスーン変動の解明」
- 高橋日出男：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（B）「降水粒子計測と稠密気象資料による都市の降水特性と短時間強雨発生予測に関する研究」
- 川東正幸：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（B）（海外学術）
「バイカル湖水系における汚染物質の除去機構の解明とその応用」
- 坂上伸生：日本学術振興会 学術研究助成基金助成金・若手研究（B）
「森林土壌における菌核の空間分布特性の把握および土壌炭素蓄積機能の評価」
- 松山 洋：日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究（B）「50年確率値を用いた土砂災害発生危険度の評価—土壌雨量指数と1時間雨量を用いて—」
- 松山 洋：日本学術振興会 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「山岳氷河のモニタリング—中国 天山山脈を事例に—」
- 中山大地：日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究（C）「土砂災害危険区域における高齢者の分布と想定最大被害額の推定に関する研究」
- 青山雅史：日本学術振興会 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「多時期の地理空間情報とGISを用いた地盤の液化化に関する危険度評価の試み」
- 齋藤 仁：日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援「湿潤変動帯における台風頻度が斜面崩壊の規模—頻度と土砂生産に与える影響の評価」
- 杉浦芳夫：科学研究費補助金基盤研究（C）「渡辺良雄の中心地研究の再評価に関する研究」
- 若林芳樹：科学研究費補助金基盤研究（A）「多様な主体による参加型GISの構築と応用に関する研究」

7 学位論文

博士論文

2014年9月

Marcelino Q. Villafuerte II :

Changes in rainfall extremes in the Philippines and neighboring Southeast Asian countries (フィリピンと東南アジア諸国における極端降雨の変化)

魚井夏子 :

A Study on Soil Classification and Evaluation based on Vertical Soil Compaction for Urban Green Spaces (鉛直方向の土壌硬度特性に基づいた都市緑地の土壌分類と評価に関する研究)

2015年3月

Anzilni Fathia Amasya :

A study on sclerotia and mesofauna relationships in forest soils described by ectomycorrhizal fungal community profiles (外生菌根菌の群集構造プロファイリングにもとづく森林土壌における菌核と中型動物相の関係性に関する研究)

瀬戸芳一 :

Daytime local wind patterns based on divergence field over the Kanto Plain in summer and their relationships with local temperature distribution and pressure distribution around Japan (発散場に基づく夏季日中の関東平野における局地風系の類型と気温分布および日本付近の気圧場との関係)

牧田広道 :

Recent Caspian Sea level changes and their formation processes (近年のカスピ海水位変化の形成プロセス)

石崎研二 :

Generalization of Central Place Theory Using Mathematical Programming (数理計画法による中心地理論の体系化)

修士論文

2015年3月

小口淳平 : 東京西部山麓域に発現した強雨域について

奥原幸平 : 西風バーストの発生分布と ENSO, IOD, エルニーニョモドキの関係

二宮大輝 : 冬季東アジアモンスーンの季節内変動の長期変化

藤間由佳 : 東京の都市キャノピー層内夜間気温の時空間変動に与える局地風系の影響

ミンガン・オルギルバル : Control of size fractions on elements distribution in the trans-boundary river within Mongolian territory

山地萌果 : CloudSat/CPR を用いた雲の気候学的研究

山本遼介 : 360度画像取得システムと航空写真を用いた街路樹の定量的把握に関する研究

和田範雄 : 精密観測に基づく地上気温に関する研究—「空間広さ」と「日だまり効果」に着目して—

木田仁廣 : アスファルト舗装が誘発する新規土壌生成作用とその過程

柴山 愛 : 大正関東地震で建物被害をもたらした要因の検討—藤沢市中南部の事例—

高橋尚志 : 多摩川および相模川の河成段丘構成礫の粒径と円磨度から推定される武蔵野期・立川期の河川運搬プロセス

寺口慧介 : 武蔵野台地北西部, 金子台・所沢台における中期更新世テフラの発見とその編年学的意義

横田彰宏 : 北海道南西部, 瀬棚平野における前・中期更新世のテフラ層序に基づく瀬棚層の堆積年代および地形発達史の検討